

<集団的かつ持続可能な支援体制の構築に積極的に取り組む事例>

○ 「鶴と人との共生の里づくり」を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県 周南市 八代			
協定面積 56.1ha	田 (100%) 水稻	畠	草地	採草放牧地
交付金額 1,179万円	個人配分 共同取組活動 (70%)			
	役員手当 共同活動の資材 消耗品、食糧費 景観作物作付経費 鳥獣被害防止対策費 農業用施設管理費 農業用施設維持補修費 積立金（農業用施設維持補修費） 事務費、会議費	30%	3%	4%
協定参加者	農業者 146人、農業生産法人 1法人、特定農業法人 1法人、 土地改良区 1組織	開始：平成17年度		
人・農地プランの作成状況	集落全域で作成済			

2. 取組に至る経緯

周南市八代地区は、四方を山に囲まれた小さな盆地で、本州で唯一のナベヅルの越冬地です。地区では「鶴と人との共生の里づくり」を目指しています。

高齢化と農家の後継者不足による農地の荒廃・鶴の生息環境の悪化を防ぐために、中山間地域等直接支払制度第2期対策より取組を始めました。同制度第2期対策においては、鳥獣被害防止対策や担い手の育成に力を入れ、第3期対策からは農業の継続が困難な農用地が発生した場合の支援体制を整えています。

3. 取組の内容

共同取組作業で水路・農道の管理、景観作物としてコスモスの作付けを行っており、ため池や水路の補修も計画的に進めています。また、営農支援体制も整えていますので、今後も農地を守り、鶴と人との共生を図っていきたいと考えています。



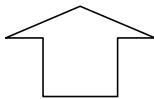
【作付けした景観作物コスモスの様子】



【ため池清掃】

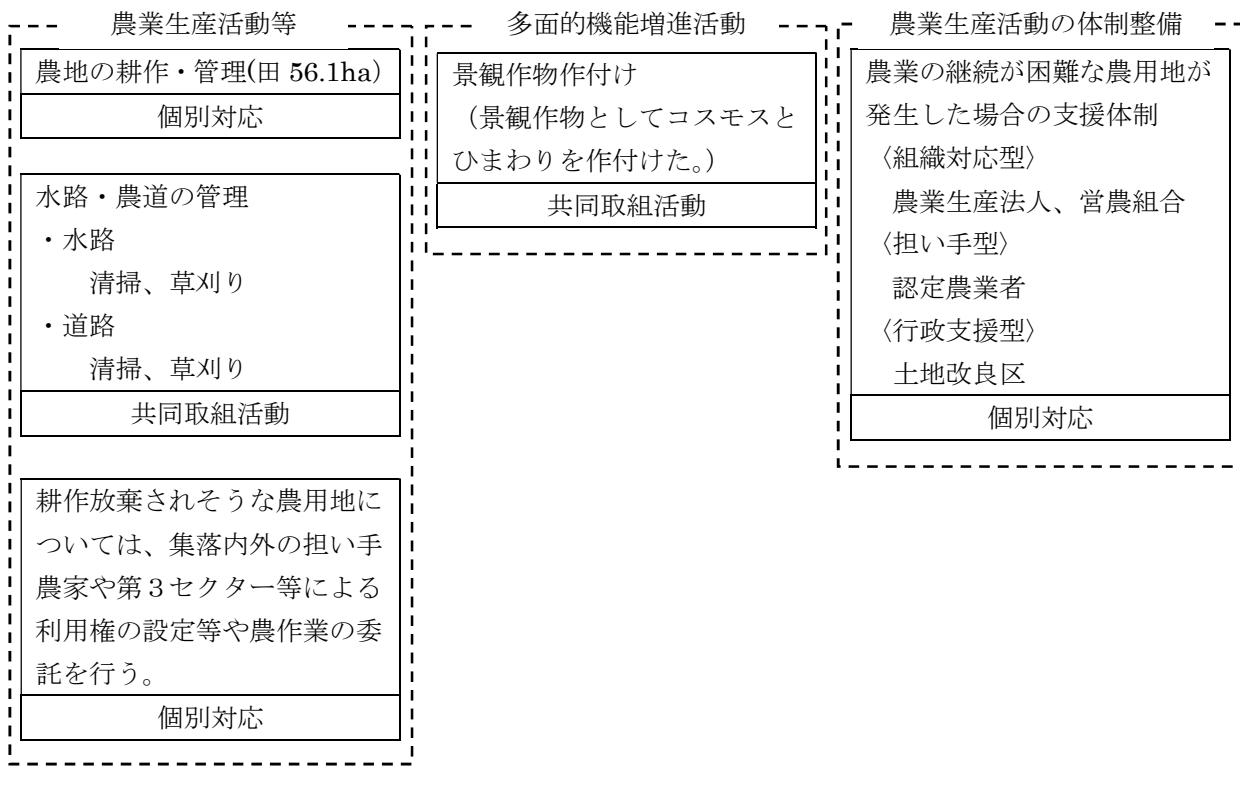
[集落の将来像]

- 地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備



[将来像を実現するための活動目標]

- 農業の継続が困難な農用地が発生した場合、集落内外の協力者を得て、安定的・持続的に支え合う仕組みづくりの構築



4. 今後の課題等

耕作者と後継者の高齢化等により、今後、離農者が更に増加すると考えられ、その対応として、新規に法人の設立や認定農業者を増やすことが必要となる。

[第2期対策の主な成果]

- 共同取組活動により地域の一体感が向上した。
- 農道・水路の修繕及び維持管理。